

2021

5

May
No. 339

広報

みしま

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations



入学おめでとう❀

ピカピカの大きなランドセルを背負って三島小学校へ
たくさんのお兄さんとお姉さんに囲まれて少し緊張気味
立派に成長し続ける子ども達
新しい生活のスタートラインをきりました

主な内容

入所式・入学式特集	2
カタクリ・オオヤマザクラ	3
地域おこし協力隊活動報告	4～5
空き家コラム	6
町民記者通信	7～9
新採用職員紹介	10

ご入所・ご入学おめでとうございます

三島保育所入所式

お友達といっばい遊ぼう

三島保育所入所式は4月5日に行われ、きりん組（年長）10名、ぱんだ組（年中）7名、うさぎぐみ（年少）11名、りすぐみ（未満児）4名の計32名が入所しました。子どもたちは一人ひとり名前を呼ばれると、元気いっぱい返事をしました。

大竹真理子所長は「保育所では楽しいことがいっぱい待っています。自分で考えてお友達と助け合いながら元気いっぱい遊んでください。」と式辞を述べました。

式の後には、仲の良いお友達とお絵描きや遊具遊びなどをして楽しそうに過ごし、新たな生活をスタートさせました。



三島小学校入学式

明るく楽しい生活がスタート

三島小学校入学式は4月6日に行われ、男子3名、女子1名の計4名が入学しました。

新入生たちは名前を呼ばれると返事をして立ち上がり、教科書と黄色い帽子を受け取りました。猪俣秀昭校長は「『おはようございます』『ありがとうございます』『お願いします』という3つの魔法の言葉を使い、お友達と仲良く協力し合いながら一生懸命お勉強をしてください。」と式辞を述べました。

また在校生の栗城花穂さん（宮下）から新入生を迎える言葉と季節ごとの学校行事の紹介がされ、新1年生は、これからの明るく楽しい小学校生活に胸をはずませているようでした。



三島中学校入学式

夢の実現へ向け踏み出す一歩

三島中学校入学式は4月6日に行われ、男子1名、女子3名の計4名が入学しました。

新入生たちは緊張した面持ちで式に臨みました。関根宏房校長は「先が見えない中でどう工夫し、対応すべきかということを考えることは、世の中を生きるために必要なことでもあります。しっかりと学び、考え、未来を作っていくってほしいと思います。」と式辞を述べました。その後、新入生を代表して森玲奈さん（宮下）が「中学生としての自覚と責任を持ち、共に励まし合い高め合っていく仲間になれるようお互いを信じ、力を併せて3年間を過ごすことをここに誓います。」と誓いの言葉を述べ、目標に向かって大きな一歩を踏み出しました。



大林ふるさとの山 カタクリ オオヤマザクラ



今年も大林ふるさとの山のカタクリとオオヤマザクラは、西方地区住民の方々のご協力のもと、山道整備や園内清掃が行われ、四月十三日に開花宣言がされました。
今年の冬は積雪が多かったため開花が遅れるのではないかと予想されていましたが、例年より早い開花となり、訪れた方々はその美しさに魅了され、思い思いにカメラに収めていました。



令和2年度 三島町地域おこし協力隊活動報告

三島町地域おこし協力隊の令和2年度の活動報告を掲載いたします。



うえむら あきえ
植村 明恵

桐振興に関すること
桐製品作り技術習得
会津桐タンス(株) 配属

一昨年の四月に協力隊として三島町に移住して昨年度で二年目が終わりました。現在は桐振興の担い手として会津桐タンス株式会社に配属され、桐細工の加工技術を学んでいます。一年目は刃物研ぎや、たんすの下拵えなどものづくりの基礎から覚え、慣れない尺貫法や初めて触る桐の木に戸惑いながらも毎日向き合う中で少しずつ身体に馴染ませていきました。

二年目は、規格や大きさなどを自分で考えながらのものづくりが始まりました。自身の好みばかりではなく、使う人にとってどのようなようにしたら使い勝手が良いのか、どのような形状なら生活空間に馴染むのかなど周りの方に意見を聞きながらデザインを決めていきました。まだまだデザインについては勉強不足なところがあるため、今後も色々な製品を見て勉強していきたいと思っています。

昨年は新たに薬箱やごみ箱、消毒台、五段引きなどを設計して実際に形にしました。学校で学ぶものづくりは自分が主人公であり、会社で



ふかさわ りょう
深澤 涼

観光協会業務
観光協会配属

私の主な業務は、「観光協会からんころん」を拠点に大きく分けて三つあります。一つ目は観光協会の事業です。観光協会の事業は、イベントやお祭りの運営に始まり、田舎暮らし体験ツアーやPR活動と多岐に渡りますが、私が主に担当している事業は「三島町観光ツアー」の企画・運営です。昨年度はコロナウイルスの影響もあり、実際に観光客を誘致してツアーを実施するまでには至りませんでした。その分、町民の方に聞き取り調査を行ったり、自分自身で様々な体験をしたりと、「三島町を楽しむ」考える”ことに集中できた半年だったように思います。

二つ目の業務は、観光協会でのおもてなしです。観光協会には日々、様々な方からの問い合わせや、注文、予約などの対応がありますが、昨年度は、どちらかというと私が来館者の方のお世話になってることが多かったように感じます。何か問題があったときに相談に乗っていただいたり、自分の知らない三島町の姿を聞いて

必要なものづくりの主人公は使い手であることが、仕事として、ものづくりをする中で大きく感じたギャップでした。

昨年に役場に収めた玄関のごみ箱は実際に使う方のお話を聞きながら、そして置く場所の広さを考えて三角屋根の回転式の蓋を取り入れて設計しました。試作を何度も行い、屋根のパーツの角度や接合の仕方、大きな板の加工の仕方を検討しました。沢山悩み、考えた分だけ完成した時の感動や喜びは大きかったです。役場にお越しの際にはぜひ実際に使ってみてください。昨年はおみ箱だけではなく、作ったものを他の方に見ていただく機会が多かったように思います。様々な意見を聞く中で改善すべき点についてもご指摘をいただき、大変勉強になりました。改善点を踏まえてより良いものづくりが出来るように頑張ります。

また、生活工芸館で開かれている小学校、中学校の木工教室にも指導の補助として参加しました。教わる立場から教える立場に変わると作業への理解がより深まりました。人の数だけ個性のある作品を見て、私も沢山の刺激を受けたので今後の製作に生かしていきたいと思っています。

この二年間で木を育てるところから材料にし、デザインを構想して製作、販売までものづくりに関わる一連の流れを見たり、旬の採れたて野菜をいただいたり、周りの方々には感謝しかありません。

三つ目はこれまでの二つに当てはまらない、観光に関する様々な取り組みをしたことです。主な活動場所は観光協会ですが、場合によっては観光協会や三島町といった枠を飛び越えて、様々な事業に携わりました。中でも印象に残っているのは「山学(マタギの学校)」事業になります。これは三島町を飛び越えて、奥会津の山文化や精神性の継承を目的として行われている活動になります。金山町で活躍されているマタギの猪俣さんや間方地区の菅家藤一さんのご指導のもと、志津倉山で沢登りに挑戦したり、ウサギ狩を体験させていただいたり様々なことに挑戦することができました。今年度はこれまで体験したことを町外の方にも楽しんでもらいたいという、観光ツアーとしてコンテンツ化していく予定です。

私の業務の中でも大きな柱を担っているのは一昨年度まで行われていた「田舎暮らし体験ツアー」の企画・運営です。これまで行われてきたツアーの結果と半年間の活動を踏まえ、今年度は、比較的若い世代をターゲットとし、『三島町で育まれた世界観』『田舎での暮らし』『ライフスタイル』を提案・疑似体験できる新しいツアーを観光協会として企画したいと考えています。具体的には、宿泊の伴

学し、経験してきました。一つ製品を作るまでに多くの方の手が加わり、ものづくりが出来ているのだと改めて実感しました。任期の三分の二が終わろうとしていて、私が協力隊として会社にいられる時間は、あと一年しかありません。三年間でどこまで技術を身につけられるか、私にできることは何なのか。まだまだ模索中です。限りある時間の中で私がこの町に来てよかったと少しでも思っていたように、覚えたことや経験したことを最大限に発揮できるように精一杯努めます。

ものづくりの他にも三島町へ来てから楽しみが増えました。四季折々の山の景色や台所仕事、昨年から公民館で始まった太極拳教室などとても充実した毎日です。三年目は協力隊としての業務とそれ以外の楽しみ、どちらもより一層充実させた一年にしたいです。



桐材を使用し、作成したゴミ箱

わなない日帰りツアーを設けることや、移住者(つまり外部)の目から見たときに魅力として映る暮らしをテーマに、SNSを通じて顧客と直接コミュニケーションが取れる準備をすることを検討しています。

最後になりますが、三島町に移住してから、これまでもたくさんの方にお世話になりながらも、日々の生活の中に見つける新しい発見やワクワクに、まだまだ自分も三島町を楽しみきれいでいないな、と思うところです。観光という分野で三島町をPRする私にとって、一番重要な業務は「自分自身が一番に三島町での生活を楽しむこと」だと思っています。何かワクワクのヒントがあれば、ぜひ三島町観光協会の深澤まで連絡をいただければと思います。



新たなツアーの内容について検討中

西方地区総会（3月21日）

文・写真 本名与四郎さん（西方）

ふるさとセンター大広間において「西方地区総会」が行われ、全世帯数91戸のうち、56名の地区の方が出席しました。昨年から続く、コロナウイルス感染防止のため、一人一人の体温チェックやマスク着用、手指消毒を励行しながらの総会となり、議事内容については地区民多数の拍手によって承認されました。

その後、町当局の担当者から、名入簡易水道の劣化が著しくなり、西方簡易水道からの飲料水を分管してほしい旨の説明がありました。そのことに対して、地区民から、湯水期になったときに水不足になりはしないのか、などさまざまな意見が出されました。今後、年間を通して水量の変化を検証していく方向で話し合いは終わり、地区総会の一切が終了しました。



三坂の山から（3月27日）

文・写真 菅家壽一さん（間方）

校歌にも歌われる町のシンボル三坂山に今年は3名で登りました。

美坂高原の駐車場から歩行開始です。雪はあまり固まっておらず、直ぐにかんじきを履きました。高原内をお喋りしながら歩くとあっという間に登山口です。公社造林を過ぎると美しいブナ林の中を歩きます。

ゆっくりと歩き2時間半ほどで頂上です。遠くには、飯豊山や吾妻連峰等の山々が、沼沢湖の先には浅草岳、御神楽岳が真っ白で美しい。眼下には、第2鉄橋、宮下や桑原等の集落が美しく広がります。ビールで乾杯。山々に囲まれた街並みを見ながらユッタリとコーヒータムです。

同行したお二人は三島町に移住した若者です。この町に定住することを決意し、そのための生活の基盤づくりに頑張っています。たまにはこのような体験をしながら、心身共に豊かで楽しい三島の暮らしを送ってくれることを願うばかりです。滝原への下山は、一部急斜面を横切る区間が雪崩の心配があるため高原に戻りました。皆さん、町のシンボル三坂山に登ってみませんか？



宮下地区総会行われる（3月27日）

文・写真 小島純さん（宮下）

平成3年度の宮下地区総会が宮下活性化センターで行われました。加藤善久区長の挨拶と来賓祝辞の後、議長に細堀清氏を選出し、議案第1号から第5号までが審議されました。

令和3年度の宮下区長には、近藤勇彦氏が選任され、承認されました。その他、新年度の町への陳情などが説明され、近藤新区長より、加藤前区長に感謝状が贈呈されました。

出席者は、新年度の地区の発展と早々のコロナ収束を願っていました。



所有者よし・入居者よし・地域よしの三方よしで三島よしの空き家対策

空き家コラム 住まいの今後について 考えよう

2021年2・3月号では、「65歳を過ぎたら、住まいの今後について考え始めよう。特に今後自己利用の見込みがない場合は、早めに利活用や解体について考えよう」とお伝えしました。今月号では、具体的に考えていく際の参考情報や確認すべき事項についてお伝えいたします。



◇認知症と空き家問題

令和2年度高齢者白書によると、2012年は認知症患者数が約460万人、高齢者人口の約7人に1人（15%）という割合だったものが、今後は団塊世代が後期高齢者となることでさらに増加し、2025年には高齢者の**5人に1人（20%）**が認知症になるという推計も出ており、認知症は誰にとっても身近な問題となります。そして、不動産所有者が認知症を患った場合、認知能力の低下により、取引が認められないため、不動産売却を行うのは非常に困難となることから、空き家問題と認知症は切り離すことができません。所有者が認知症となった場合、**成年後見制度**を利用しなくてはならず、手続きに時間や費用がかかってきます（今後のコラムに掲載予定）。

住まいの今後について考えることは、気の進まないことかもしれませんが、上記理由により、**早めに考え、意思決定をすることはとても大事なことです**。そして、問題を先送りすることは、常に気がかりな問題と隣り合わせで生活するということでもあります。住まいの今後について考えることをきっかけに、これまでの人生を振り返り、今後の人生について考えることは、自身の不安や心配を解消し、残りの人生をより軽やかに充実したものとするために大切なことだとも言えます。また、住まいの今後について考え、ご家族で共有することは、残されるご家族の方々の不安解消と負担軽減にもつながります。**住まいの今後について考えることは、ご自身とご家族の方みなさんが、より幸せな未来を迎えるための第一歩です。**

◇具体的にすべきこと

家・土地の資産価値と将来の売却可能性を把握しましょう

家・土地の登記を確認しましょう

今後について、家族で話し合いましょう

家財を片付けましょう
*次号コラムに掲載予定

◇家・土地の資産価値と将来の売却可能性の把握

三島町の場合、都市部と比較して不動産価格が低いことから一般的な不動産流通に乗らないのが現実です。そのため、町には物件と入居希望者とのマッチングを行う**空き家・空き地バンク制度**（町は売買等契約に関与しません）があります。

【2020年1月現在の公示価格】

宮下地区	6,000円/㎡、7,900円/㎡
西方地区	3,500円/㎡
桧原地区	2,190円/㎡

【三島町空き家バンクの相場】

売却	無償譲渡～200万円ほど
賃貸	5,000円～2万円/月

*価格は所有者のご意向を尊重し、入居者と相談しながら決められています。

◇家・土地の登記の確認

*登記については2019年10月号参照

法務局に登記されていない物件は、所有者や権利関係が不明な状態であり、売買等には大きなリスクが伴います。現在、不動産の登記は義務ではありませんが、国では、不動産の登記を義務化する方向で進めています。相続手続きの場合、時間が経てば経つほど複雑で手間と時間がかかりますので、**早めに手続きすることを強くお勧めします**。ご不明な点は、福島県地方法務局会津若松支局（0242-27-1501）、もしくはお近くの司法書士や行政書士事務所にご相談ください。

◇家族で話し合いましょう

大事なことは、**まずご家族で話し合うこと**です。ご自身やご家族の方々の意向、まずはお互いに伝えあい、納得のできる解決策を導き出しましょう。そして、困りごとやお悩みがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

地域政策課 地方創生推進係 ☎（48）5533

雨の中のふるさとセンター冬囲い撤去作業（4月17日） 文・写真 本名与四郎さん（西方）

朝から冷たい雨が降りしきる悪天候となったものの、護持会の方々を中心に午前8時から西隆寺の冬囲い撤去が行われました。

その後、一服する間もなく、西方地区委員と昨年度まで地区委員だった星幸衛さんの協力をいただき、西方ふるさとセンターの冬囲い撤去作業と麻生方面に向かう国道400号線脇のガードレール取り付け作業が行われました。

青木喜章区長の指示の下、スムーズに冬囲い撤去作業をけが・事故なく終了することができました。



藤の和神楽公演楽しむ（4月18日） 文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

恒例の「柳津藤の和神楽」が公演されました。午前9時より各戸に獅子入れをし、お札を配り、無病息災と新型コロナウイルス終息と五穀豊穡を願いながら、春を告げる神楽音を響かせながら回りました。今回は悪天候のため屋内での公演となり、片山一雄宅と阿部和彦宅の2箇所で行われました。参加された地区の皆様は、コロナウイルス感染症対策のため、全員マスク着用のうえでの見学となりましたが、様々な演目により笑い声と拍手が響きわたり大変楽しいひと時を過ごされました。片山宅、阿部宅には準備で大変なご苦勞を頂き、感謝申し上げます。



広報みしま

皆さんに親しまれる広報誌を!

町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが、読まれる方の関心を引き、感動を与えます。「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。皆さんに親しまれる広報誌を目指して情報発信に努めます。

☎ 役場 地域政策課 地方創生推進係 ☎ (48) 5533



新入学・新学期を気持ち良く登校（3月28日） ～町消防団宮下班で道路清掃を実施～ 文・写真 小島純さん（宮下）

三島町消防団宮下班では、新入学・新学期を間近に迎えた町内の道路清掃の作業を行いました。

2つの班に分かれ、道路上、下から清掃を開始、ホースで流し出された泥等をほうきで丁寧に掃き出し、きれいな道路（通学路）になっていきました。



滝原地区総会（3月28日） 文・写真 佐久間絹江さん（滝原）

滝原林業センターにて、令和2年度の収支決算と令和3年度行事予定、予算案が協議、可決されました。

昨年に引き続き、今年度もコロナ禍の下、いくつかのイベントが中止、縮小されましたが、久しぶりに住民の方々が一同に会し、これからの滝原地区をより良く生活するためにと熱心な話し合いが行われました。雪解けも進み、畑作業が本格的になる時期です。害獣対策を行いながら、実りある一年にしていきたいと願うばかりです。



大山祇神社、温泉神社で春祭（4月10日） 文・写真 橋本光五郎さん（早戸）

早戸地区では、4月10日に大山祇神社と温泉神社の春祭を執り行いました。今年も昨年に続き新型コロナウイルス感染症への感染予防をとりながら最低限の出席者で実施することとなり、2年連続で少し寂しい春祭となりました。

いつになったら平常通りの開催ができるようになるのか、地区の活動が日常に戻ることを願っての春祭となりました。



春の例大祭（4月11日） 文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

桧原地区の春の例大祭が、春日神社の本殿にて神社総代と地区役員ら11名が参加され、宮司をはじめ出席者は全員マスクを着用して、コロナウイルス感染対策をしたうえで執り行われました。青木宮司より五穀豊穡と家内安全、また、新型コロナウイルス感染拡大の早期終息を願う祝詞も奏上され、その後、阿部通利総代長と鈴木隆一区長により玉串奉奠が実施され地区の皆様の健康と繁栄を祈願いたしました。その後、直会を実施し、今年一年も楽しく幸福な毎日を送ることが出来るようにと参加者は春の到来を感じながら楽しいひと時を過ごされました。



今すぐできる!花粉症対策

※メガネやマスクの着用

体内への花粉の侵入について、花粉症用マスクは約1/6、花粉症用メガネは1/4程度に減らせることが分かっています。

※花粉が付きにくい素材

コートなどを選ぶときは、綿やポリエステルなどツルツルしている素材がおススメです。

※柔軟剤で付着予防

花粉は静電気によって引き寄せられるため、選択するときは柔軟剤を使用して静電気を防止しましょう。

※トイレマットにご注意

衣類を上げ下げするたびに花粉が落ちるため、トイレマットには花粉がたまりやすいです。こまめに洗濯しましょう。

※部屋の換気は窓を小さく開ける

窓を10cm開けるだけでも十分に室内の空気を入れ替えることができます。また、網戸とレースのカーテンで花粉の侵入を50%カットできると言われています。

※のど、鼻の保湿

のどや鼻の粘膜が乾燥すると炎症が起こりやすくなります。水分補給、濡れマスクやのど飴を利用して乾燥を防ぎましょう。

図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

- 利用時間
 - ①~④ 午前9時~午後9時
 - ⑤・祝日 午前9時~午後5時
- お休み
 - 年末年始

☎公民館 ☎(48)5599

●今月のおすすめ

74歳、ないのはお金だけ。あとは全部そろってる
 著者：牧師 ミツコ

牧師の夫と共に40年以上教会を運営。その傍ら娘4人を育て上げる。日々のやりくりは年金と、週3回のシルバー派遣の収入の7万円です。「十分」。お金がないからこそ、一輪の花を買えたときの喜びが増す。自宅の写真も入れながら、その清貧かつ豊かな生活をのぞく。



●図書の紹介

題名	著者
一度読んだら絶対に忘れない日本史の教科書	山崎 圭一
一度読んだら絶対に忘れない世界史の教科書	山崎 圭一
茄子の輝き	滝口 悠生
犬がいた季節	伊吹 有喜

花粉症を軽減するといわれる栄養素

乳酸菌類 (発酵食品)

免疫細胞を活性化させ、免疫を強める働きがあります。



青魚の脂 (DHA・EPA)

アレルギー症状を強める脂肪酸の効果を打ち消す働きが期待されます。



βカロテン、ビタミンC、ビタミンE

アレルギー症状を強める活性酸素に対抗する抗酸化ビタミンです。



【花粉症を悪化させないために】

花粉症の症状があるときにお酒を飲みすぎると、血管が広がり鼻詰まりや目の充血などの症状が起こりやすくなります。また、タバコや香辛料なども鼻の粘膜を刺激して花粉症の症状を悪化させますので、できるだけ控えましょう。



町民課 保健福祉係
 管理栄養士
板橋 円
 31歳 会津美里町出身

三島町役場には数年間、管理栄養士臨時職員として勤務しておりました。今までも訪問や健診時には町民の方々と話しし学ぶことが多くありましたが、今年度からは正職員として採用していただき、これから学びながら、町民の皆様の健康づくりのお手伝いをさせていただきたいと思っています。訪問や町中でお声をかけさせていただくことがありますので、その際はよろしくお願いたします。



産業建設課 産業係
 主事
藤本 幸太
 22歳 二本松市出身

四月より、産業建設課産業係に勤務することになりました。藤本幸太です。出身は二本松市です。産業建設課産業係では、主に林業の仕事を担当します。三島町について知らないことも多く、不慣れな部分が多々あると思いますが、仕事を通して三島町のことを知っていき、貢献できるような頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



生涯学習課 生涯学習係
 主事
中丸 拓
 22歳 宮下出身

四月より新規採用として生涯学習課生涯学習係に勤務することになりました。中丸拓です。会津若松の高校を経て四年間北海道の大学で主に情報システムと電子工学を学んできました。北海道から戻り、間もないため知らないことが多く、まだ業務に慣れません。三島町のために一生懸命献身していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。



地域政策課 地域政策係
 地域おこし協力隊
山本 敬晴
 33歳 福岡県出身

私は主に再生可能エネルギー導入や森林の利活用に関して取り組む地域循環業務を担当させていただきます。以前から環境問題に対する関心が高く、三島町が取り組んでいる木質バイオマスエネルギー導入事業にぜひ携わってみたいという強い思いから協力隊に志願しました。九州育ちのため勝手が分からず、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いましたが、町民の皆さまのお役に立てるように一杯頑張ります。



人事交流 県より着任
 地域政策課 地域政策係
 副主査
横澤 勇輔
 28歳 福島市出身

福島県との人事交流で四月から地域政策課に参りました。横澤勇輔と申します。地域政策課では主に商工業振興や観光・産品PRを担当します。町民の皆様との関わりを大事にしながら、三島町の魅力発信に一杯取り組んで参りますので、よろしくお願いたします。趣味は旅行、登山(主に県内)で、在任中は奥会津の自然を満喫したいと考えています。町内で見かけたらお気軽にお声掛けください。



町民課 保健福祉係
 保健師
長谷川 未香
 38歳 会津美里町出身

四月より採用された保健師です。私はこれまで、看護師として五年間、他自治体で保健師として十年間勤務していました。前職での経験はありますが、三島町の保健師としてまだまだ不慣れなこと、分からないことがたくさんあります。先輩職員、町民の皆様いろいろな教えていただきながら、皆様の健康づくりのお手伝いできればと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

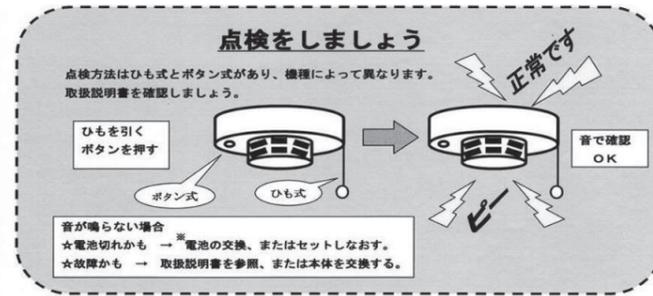
消防署からのお知らせ

三島町では、全戸配布された住宅用火災警報器が、設置から約10年が経過し、電池切れや交換の時期を迎えます！



▽住宅用火災警報器は維持・管理が大切です！

住宅用火災警報器は、すべての住宅の寝室及び階段（寝室が2階以上にある場合）に設置が義務となっています。



会津坂下警察署からのお知らせ

なりすまし詐欺の被害防止

Table showing the status of impersonation fraud cases in the district for March. It lists 22 cases with a total amount of 3,070 million yen, broken down by type such as 'オレオレ詐欺' and 'キャッシュカード詐欺盗'.

【キャッシュカード詐欺盗】警察官や金融機関職員を装い、キャッシュカードが悪用されているなどの電話の後に自宅を訪れた犯人に隙を見てキャッシュカードを盗まれるもの。止回も詐欺に警戒を要す。詐欺グループは、週末であっても曜日に関係なく、警察官等になりすまして、詐欺の電話をかけてきます。電話に「キャッシュカード」や「暗証番号」の話をされたら、まず詐欺を疑い、警察や家族に相談しましょう！会津坂下警察署管内では、不審なハガキ等が自宅に届いたとの相談

人権擁護委員の日

6月1日は、人権擁護委員法が施行された日です。法務省及び全国人権擁護委員連合会は、人権擁護委員法が施行された日を記念して、毎年6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、6月1日を中心に、人権擁護委員が皆様の町で特設人権相談所を開設して人権相談に応じたり、全国的な啓発活動を実施しております。

総務省からのお知らせ

電波利用環境保護周知啓発強化期間 6月1日～10日は「電波利用環境保護周知啓発強化期間」です。電波は航空機や船舶、警察、消防救急用など、私たちの生活の安全・安心の確保に使われています。不法電波は人命に関わる重要無線通信を妨害して、私たちの生活を脅かします。ルールを守って正しく使しましょう。

社会福祉協議会より

町社会福祉協議会へのご寄附 (ご遺志によるもの) 石岡 健二様(大登) 五十嵐 一夫様(名入)

◆心配ごと相談◆

5月13日(木) 福寿草 午前9時30分から午前11時30分まで

地域ふれあいサロンのご案内

Table listing community salons in various areas like '川井友愛サロン', '川井集会所', '大登サロン', etc., with dates and times.

町からお知らせ

5月分納税のご案内 【納期限 5月31日(月)】 国民健康保険税(第1期) 介護保険料(第1期) 町民課 町民係 ☎(48) 5555

町の人世帯(4月1日現在)

Table showing population and household statistics for the town as of April 1st, including birth/death/migration and population by gender.

工芸館だより① くものづくりの伝承

今月より、より多くの皆様に三島町の生活工芸運動を知っていただき、楽しくものづくりに取り組んでいただけるよう「工芸館だより」として毎月広報いたします。情報を発信いたします。

現在、編み組細工の作り手の育成のため生活工芸館の道路向いにある「工人の館」の工房を無料開放しております。自宅での作業が困難な方や制作の指導を受けたい方、これからのものづくりを始めた方のご相談にも応じていますので、ぜひお気軽にご利用ください。



工人の館 利用のご案内

利用対象者：町民並びに特別町民

利用時間：午前9時～午後5時

休館日：毎週月曜日

(月曜日が祝日の場合はその翌日)

※要事前予約：三島町生活工芸館 ☎ 48-5502

「第35回 ふるさと会津工人まつり」等の中止について

6月に開催を予定しておりました「第35回ふるさと会津工人まつり」並びに「てわっさの里まつり」及び「山と木の市場」につきましては、全国からの不特定多数の参加並びに臨時シャトルバス利用による濃厚接触が想定されるため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対応を受けて、中止といたします。

今後の開催につきましては、新型コロナウイルスの感染状況や国・県の方針等により感染対策における実施可能な開催方法を再検討することとし、決定次第お知らせいたします。

開催を楽しみにして下さった皆様には、急なご案内となりご迷惑をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

福島県大沼郡三島町
三島町生活工芸運動友の会
てわっさの里まつり実行委員会
山と木の集い実行委員会

町長日記 く 振興計画と社会の動向

No. 67

第五次三島町振興計画が、多くの町民の皆さまのご参加により三島の町づくりの羅針盤(方向性)として策定出来ました事に心より感謝申し上げます。

この振興計画書が、町民の皆さまに読まれ、手ですり減るまで活用・検証され、またご批判いただき双方の議論を通して、三島町に住んで良かった、生まれて良かったと感じていただけた指針となればと考えています。成熟社会のキーワードであります、再生や回帰・環境・医療・福祉・健康、そしてICTの言葉を深化連携し、チーム三島として諸事業に取り組んでまいりますので町民の皆さまのより一層のご指導ご協力をお願いします。

「社会の動向」という視点で、五点あります。一点目は東日本大震災、新潟福島豪雨災害からの復旧・復興。二点目は新型コロナウイルス感染症対策と経済の両立。三点目は社会基盤のデジタル化による住民福祉の向上。四点目は脱炭素社会の実現。五点目はSDGs「誰一人取り残さない」社会の実現。これらの時代背景を念頭に置きながら、将来を見据えた事業展開をしていきたいと考えています。

高度経済成長は、過疎山村地域のサイドからみると、外部の経済成長そのものに依存した、つまり成長のパイを

分配された限定された効果であったように思います。山村地域への誘致企業を考える時、消費社会に対応し、一定の経済的効果を支えた事は確かであり、しかし世界の経済構造が変化すると山村地域の誘致企業は撤退した現実を見てきました。

三島の姿を見ると、大きな二つの流れがあると考えます。一つは過疎化・高齢化・限界集落の現実がマイナスの流れとしてあります。しかしこのマイナスの流れがすべてではありません。三島でしかできない暮らしに価値を見いだす大きな流れがあるのも現実であります。この流れが定着していき、福島県以外の人も加わっているのが特徴的であり、異文化が底流で衝突し、新しい三島の生活文化を構築するのではないかと期待しています。

後者の流れを創り出す人々は、三島の何に価値を見いだしているのだろうか。考える人によって多様であります。集落のコミュニティに魅力を感じる人。農林業の仕事を希望してくる人。自然の中で子育てしたい人。自然や集落に安心感を感じている人です。この流れを確実にするためには行政もしっかりと経済基盤整備構築に対応する必要があります。

三島町長 矢澤 源成